

機械科同窓会の皆さんでインドへ一緒にませんか

# インド釈尊三大聖地巡拝と 世界遺産タージ・マハールへの旅

旅行期間：2019年2月23日(土)～3月2日(土)《8日間》

【5名様以上催行/8名様以上添乗員同行】

旅行代金 238,000円

個室部屋利用代金 48,000円

※左記旅行代金の他に別途、国内空港施設利用料、現地空港税、インドビザ代、燃油サーチャージ料等のお支払いが必要です。詳細は裏面の旅行条件をご覧ください。  
(燃油サーチャージや現地空港税は原油価格、為替レートの変動により料金を見直す場合がございます。)



ダメークの塔(サルナート)

霊鷲山香室(ラジギール)

タージ・マハール(アグラ)

旅行企画者：塩田康友(同窓会副会長)

お問い合わせ・ご質問は、塩田まで  
TEL 080-3104-9565  
FAX 0745-74-5055  
E-mail shiota-y@kcn.jp  
〒636-0131  
奈良県生駒郡斑鳩町服部1-13-32

## 日程表

	月日( )	訪問都市	時刻	交通機関	摘要
1	2019年 2月23日 (土)	関西空港 デリー	発着 14:10 21:20	AI-315	正午、関西空港集合 インド航空にてデリーへ(香港経由、機内待機) 着後、入国審査の後、ホテルへ ☒・✚・✚ (デリー：アショクカントリー泊)
2	2月24日 (日)	デリー パトナ (ナーランダ)	発着 10:35 12:15	AI-409 専用車	午前、国内線にてパトナへ 着後、ラジギールへ 途中、時間があれば玄奘三蔵が学んだナーランダ大学跡参観 (間に合わなければ翌日) 着後、ホテルへ ☒・✚・☒ (ラジギール：ホッケホテル泊)
3	2月25日 (月)	ラジギール ブダガヤ	発着 14:00 16:30	専用車	ラジギール参拝 (霊鷲山、ピンピサーラ王の牢獄跡、竹林精舎等) 昼食後、釈尊成道の地ブダガヤへ 着後、ホテルへ ☒・✚・☒ (ブダガヤ：スジャータホテル泊)
4	2月26日 (火)	ブダガヤ ベナレス	発着 12:00 19:00	専用車	午前、ブダガヤ参拝 (大塔、金剛宝座、尼蓮禅河、スジャータ村等) 昼食後、専用車にてベナレスへ 着後、ホテルへ ☒・✚・☒ (ベナレス：ラマダホテル泊)
5	2月27日 (水)	ベナレス デリー	発着 15:30 17:05	AI-433	早朝、ガンジス河でヒンズー教徒の沐浴見学 午前、釈尊初転法輪の地サルナート参拝 (ダメーク塔、ムーラガンダクティ寺院、迎仏の塔、州立博物館) 午後、国内線にてデリーへ 着後、ホテルへ ☒・✚・☒ (デリー：アショクカントリー泊)
6	2月28日 (木)	デリー アグラ	発着 09:00 12:00	専用車	午前、専用車にてアグラへ 着後、ムガル帝国の要塞アグラ城と白亜の廟タージマハール 見学 ☒・✚・☒ (アグラ：ジェイビーパレス泊)
7	3月1日 (金)	アグラ マトウーラ デリー デリー	発着 09:00 10:30 16:00 23:05	専用車 AI-314	午前、専用車にて再びマトウーラへ 着後、マトウーラ博物館を見学 昼食後、再びデリーへ 着後、ショッピングと夕食の後、空港へ 空路、帰国の途へ ☒・✚・☒ (機中泊)
8	3月2日 (土)	関西空港	着 12:40		着後、入国審査と通関の後、解散 ✚・☒・☒

※ 上記日程表中の時刻は、全て現地時刻で記入しています。(時差がございますので、ご注意下さい。)

※ 上記日程表中の国際線、国内線をはじめとする時刻は、予告なく変更される場合があります、日程を大幅に変更する場合がございます。

※ 食事記号：☒=朝食、✚=昼食、☒=夕食、✚=機内食、☒=食事なし

### 旅行のハイライト

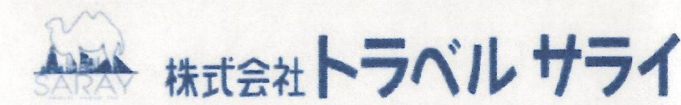
- ※ インド観光の定番であるゴールドライアングルの内、バラナシとアグラへ参ります。  
バラナシはヒンズー教の聖地。ガンジス河で沐浴をしますが、見学します。(される方はご自由に)  
アグラでは世界遺産のタージ・マハールとアグラ城へ参ります。
- ※ お釈迦さんの聖地(いわゆる仏跡)の内、三大仏跡であるブダガヤ・サルナート・ラジギールへ。  
ブダガヤはお釈迦さんが悟りを開かれた地で、全世界の仏教徒が集う処です。  
サルナートはお釈迦さんが最初に説法をされた処で、ここで仏教教団が成立したのです。  
ラジギールは、法華経など多くのお経を説かれた聖地で、山の上に釈尊の居室の跡が残っています。  
そのほか、玄奘三蔵も訪れたナーランダ大学跡へも参ります。

旅行のお勧め：私たちと共に、遙かなる「天竺」へ参りませんか。インドは混沌とした国ですが、奥深い魅力があります。同じ所へ何度行っても、毎回、新しい発見があります。  
ご参加頂く方には、私が作成した詳細なガイドブックを差し上げます。(インド人ガイドの説明より詳しいかも?)  
是非とも、皆様のご参加をお待ちしております。

○旅行時期：2019年2月23日（土）～3月2日（土）【8日間】

観光庁長官登録1510号・日本旅行業協会正会員

- 旅行代金：238,000円（5名様催行、8名様以上添乗員同行）
- ※ 宿泊は2名1室をご利用頂く予定です。個人部屋をご希望の場合は個室部屋追加料金が必要です。
- ※ 上記旅行代金の他、燃油サーチャージ・国内空港使用料、現地空港税のお支払いが必要です。（合計19,740円 詳細は下記をご覧ください。）
- ※ 弊社にてインドビザを代行取得の場合は、インドビザ代1,550円と取得手続き代行料9,720円も必要です。



〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-2-1 ORRビル  
TEL06-6232-3012・FAX06-6232-3013  
フリーダイヤル0120-408-128

総合旅行業務取扱管理者：奥村雅堂・諏訪圭二郎  
担当：石田、保井、松本

ご注意とお願い

- 旅行代金はエコノミー席利用の場合の代金です。
- 交通機関の都合等やむを得ない事情により、発着時刻、訪問地、宿泊地、利用ホテル等、日程の一部に変更を生じることがあります。
- 機内食は食事回数に含まれておりません。機内食は利用便によって軽食となり、提供されない場合や、ホテル、レストランの食事となる場合があります。また、逆にホテル、レストランの食事が機内食に変更となる場合があります。
- 現地国内線は、機材調整または、全離発着が整備されていないために、予告なく運休や大幅な遅延、予約超過が起きる事があります。又、運行スケジュールも頻りに変更になります。その際には、空路を変えてバスや列車などで移動することになり、やむなく観光などが一部変更、割愛になります。
- 当旅行の訪問国では各宗教や各州によって祝祭日があり、直前でないとわからない場合もあります。観光施設の突然の休館もあります。
- 食事は可能な限りレストランでおとりいただきますが、行程上や衛生上やむを得ず簡単なお弁当を御用意することも御座います。

○個室部屋追加料金：48,000円

申し込み方法

お申し込みいただく際は、送付の申込書に必要事項をご記入いただき、弊社宛にご郵送下さい。（FAX可）  
また、申込金は下記銀行、又は郵便局にてお振込み下さい。  
申込金：50,000円（旅費に充当致します。）  
申込締め切り：2018年12月28日（金）  
※クレジットカードでのお支払は承っておりませんご了承下さい。

お申込金等お振込先

三井住友銀行 備後町（びんごまち）支店  
普通 1231333(株)トラベルサライ  
ゆうちょ銀行 00950-1-66023(株)トラベルサライ

個人情報保護への取り組みについて

申込みの際に提出された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様が申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。詳細は、申込み時に書面にてお送りさせていただきます。

渡航手続きのご案内

今回ご訪問いただくインドは入国の条件として観光査証の取得が必要です。ご本人で取得できるほか、弊社で取得代行をさせていただきます。

インドビザ取得の必要書類

有効な旅券と証明写真1枚（5.0cmX5.0cm/カラー/背景色白（無背景）/顔の大きさが2.5cm~3.5cm以内）と  
現住所確認書類（免許書の両面コピーや住民票の原本等）をご用意下さい。  
※詳しくはお申込み後にご案内致します。また、弊社で取得代行させて頂く場合、パスポート原本をお預け頂きます。

今回の旅行では、有効期限が**2019年8月23日以降まで**であるパスポートが必要です。ご確認ください。

パスポートをお持ちでない方 または、有効残存期間に満たない方

（\*パスポート申請の為に下記の書類が必要です。遅くとも2018年12月下旬には申請、または更新をお願いします）  
①写真（縦4.5cm×横3.5cm）・・・1枚 必ずパスポート用の写真をお貼り下さい。  
②戸籍謄本（6ヶ月以内発行のもの）・・・1通 ③住民票（6ヶ月以内発行、本籍記載のもの）・・・1通 ④身分証明書（運転免許証など）

旅行条件(要約) お申込の際には、必ず旅行条件書をお受け取り下さい。

旅行代金に含まれている経費

- ◆ 国際線のエコノミー・クラス利用の団体包括航空運賃。
- ◆ グループの専用にご利用いただく貸切バスの料金。
- ◆ 宿泊は、日程表記載のホテルクラスに、2人1部屋を原則にご利用いただく予定です。
- ◆ 日程表に記載された食事回数の食事（機内食を含む全食事付）
- ◆ 空港・駅・埠頭～ホテル間の送迎、観光、見学とそれに伴う入場料、税金。
- ◆ 全行程同行する添乗員費用と、現地日本語ガイドの費用。
- ◆ お一人23キログラムまで手荷物運搬料金
- ◆ 弊社旅行約款に基づく団体保険と日程中にかかるチップ及び税金
- ◆ 航空保険料（日程中の航空機にかかる保険料）

利用予定ホテル

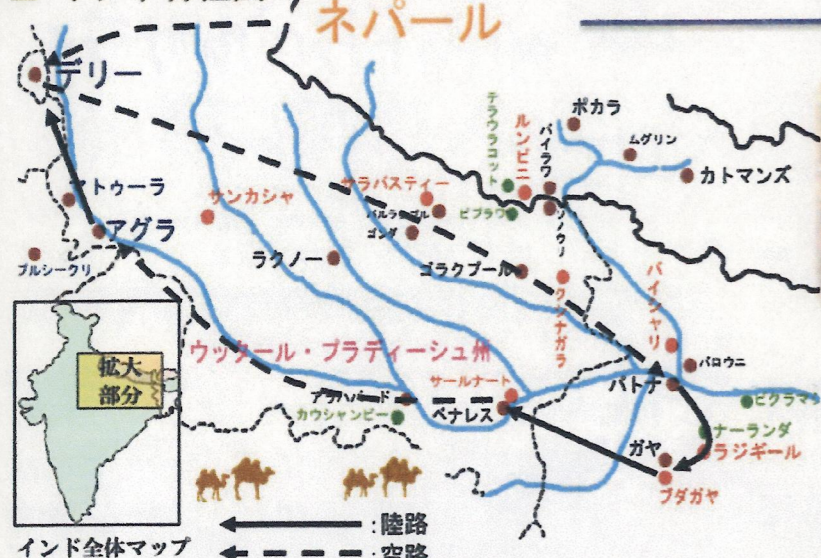
1日目、5日目：アショカ・カントリークラス（3つ星）  
2日目：インドホッククラス 3日目：スジャータホテルクラス（3つ星相当）  
4日目：ラマダホテルクラス 6日目：ジェイビーパレスクラス（5つ星）  
※現地事情により、他の同等クラスホテルに変更になる場合があります。

取消料のご案内

- ★お客様の都合によりご参加をお取り消しになる場合は、以下の取消料が必要となります。（注：旅行代金にかかる取消料となり査証料、代行料など実費は別途申し受けます。）
- ◆ 旅行開始の前日から起算して30日前～3日前までの間のお取消し・・・旅行代金の20%
  - ◆ 旅行開始の前日から起算して3日前～当日集合時間まで間のお取消し・・・旅行代金の50%
  - ◆ 無連絡不参加・旅行開始後のお取り消し・・・旅行代金の100%

旅行代金など算出基準日  
2018年6月1日

インド行程図



釈尊像(大塔内部)

大塔(ブダガヤ)

訪問都市(デリーとアグラ)

デリー

インドの首都で、その歴史は紀元前12世紀にも遡ります。整然とした街区にあちこちに庭園が配置され、町全体が公園のような印象を与えます。国立博物館にはインドのピブラワで発掘されたお釈迦様のご遺骨が展示されています。

アグラ

かつてはムガル帝国の本拠地であり、5代皇帝シャー・ジャハーンが亡くなった王妃ムムターズ・マハルの為に22年の歳月をかけて総大理石の白亜の霊廟タージ・マハールを建て、アグラの名を不朽にしました。アグラ城はアクバル帝によって1565年に築かれたムガル帝国の国家の象徴です。シャー・ジャハーンは実の息子にこのアグラ城に幽閉され、アグラ城からタージ・マハールを眺めていました。



タージ・マハール

アグラ城

各地の気温 (平均気温℃)

主な訪問地		1月	2月	3月
デリー	最高気温	17.2	24.2	32.5
	最低気温	7.2	12.1	17.8
ブダガヤ	最高気温	23.5	26.3	33.2
	最低気温	9.6	11.6	17.3
日本・大阪	最高気温	8.4	9.2	16.6
	最低気温	1.8	1.9	6.7

暑い季節になりますが、バス内や機内は冷房が効いていますので、温度調節のしやすい重ね着を持ってきて頂くのがお勧めです。

釈尊の三大聖地とナーランダ仏教大学跡

ラジギール

ビハール州パトナ地区の岩山に囲まれた盆地で、この地がマガダ国の首都でありました。五山に囲まれた王舎城には釈尊と弟子達が起居したといわれる竹林精舎があります。また近くにある霊鷲山は釈尊が法華経、大無量寿経を説かれた場所として名高く、観無量寿経の説かれた七重の牢獄跡から望むことが出来ます。

ブダガヤ

釈尊が菩提樹の下で悟りを開かれた所として聖跡のうちでもっとも最高の聖地といわれています。現在、釈尊ご成道の地には大精舎が建てられ、大精舎の西側には菩提樹と金剛宝座があります。尼蓮禅河を渡り1kmほどの所に、乳粥を供養したスジャータという乙女が住んでいた村、供養の場所、ウルベラの林があります。

ベナレスとサルナート

インドで最も有名なヒンズー教の聖地がベナレスです。ガンジス川の河畔に位置し、人々は河岸の石段(ガート)に集まり、ここで瞑想にふけり永遠の流れの中で沐浴します。近郊のサルナート(鹿野園)は、釈尊の初転法輪の地です。ダメーク塔や迎仏の塔、そしてインドの至宝ともいえる釈尊の石造の初転法輪像やインドの国章になっている四頭のライオン像を陳列する博物館があります。

ナーランダ大学跡

5世紀から12世紀迄栄えた仏教大学のあった場所です。盛時には1万人の学僧がおり、面積50平方キロ。インド最大の、最高の仏教教学の中心でありました。『西遊記』で有名な玄奘三蔵はこの大学に留学し、後には自分で講義もしています。



ナーランダ仏教大学跡